

定冠詞

「犬」は kalbun でしたね。語尾に n がつくことを「タンウィーン」といいます。これは不特定(非限定)であることを示します。英語の不定冠詞 a に相当。つまり、kalbun は「ある犬」(英語 a dog)です。

特定(限定)される名詞には定冠詞がつきます。アラビア語の定冠詞は「アル(al)」。定冠詞がつくと、不特定(非限定)を示す、語尾の n は失われます。つまり、「その犬」(英語 the dog)は al-kalbu となります。

それでは、これをアラビア文字で書いてみましょう。

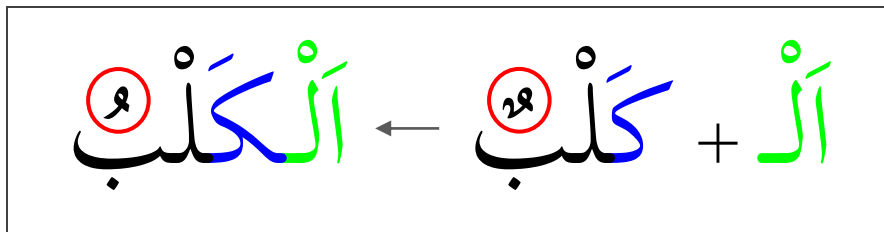
まず、定冠詞。アラビア語では定冠詞と単語をつなげて書くので、定冠詞は次のようになります。

	定冠詞 al
--	-----------

ローマ字 l (アイ) の後に l の鏡文字。「縦・縦・横」と線を引くだけ。簡単なので、まず覚えてしまいましょう。

「その犬」は、

- ① 定冠詞「縦・縦・横」を書きます。
- ② 続けて単語を書きます。単語の最初の文字は語中形に変えます。
- ③ 記号をつけます。最後の文字につく記号 un は u に変えます。



次の単語に定冠詞をつけてみましょう。

定形(限定)	不定形(非限定)	転写	
	وَلَدٌ	waladun al-waladu	少年
	يَابَانِيٌّ	yābānīyun al-yābānīyu	日本人
	أَبٌ	'abun al-'abu	父

定冠詞 **الْ** (al) に続けて発音しようすると、言いにくい語があります。それは太陽文字で始まる語です。

太陽文字は次の14文字、

ت ث د ذ ر ز س ش ص ض ط ظ ل ن

* その他の文字は月文字と呼ばれます。

太陽文字で始まる語につく定冠詞は、「アッ」と促音で発音します。定冠詞 **الْ** の **ل** には記号をつけず、代わりに単語の最初の文字の上にシャッダをつけます。

* シャッダは、ローマ字の w に似た記号で、2つの文字が重なっている(ダブっている)ことを示す印。ほとんどの場合、促音「ッ」で発音します。

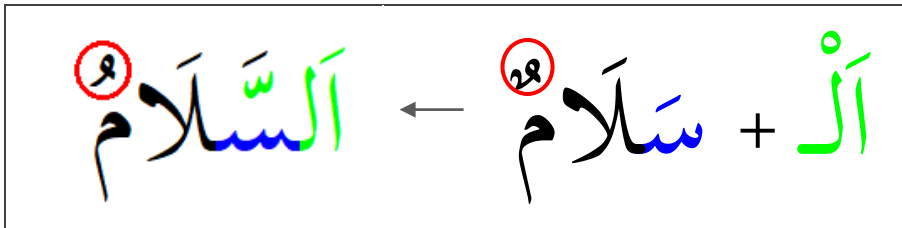
القَمَرُ		月 al-qamaru アルカマル
الشَّمْسُ		太陽 ash-shamsu アッシャムス

「平安」に定冠詞をつけましょう。

- ① 定冠詞「縦・縦・横」を書きます。
- ② 続けて単語を書きます。単語の最初の文字は語中形に変えます。
- ③ 記号をつけます。

定冠詞の2番目の文字 ㇿ には記号をつけません。代わりに単語の最初の文字の上にシャッダをつけます。

最後の文字につく記号 un は u に変えます。



* シャッダは常に文字の上に書きます。母音 a を示す記号、u を示す記号をつけ足すときは、シャッダの上。i を示す記号は、通常どおり文字の下でもよいし、文字の上で、シャッダのすぐ下でもよいです。

シャッダ + a	シャッダ + i	シャッダ + u

太陽文字で始まる単語に定冠詞をつけてみましょう。

定形(限定)	不定形(非限定)	転写	
		darsun ad-darsu	レッスン
		lughatun al-lughatu	言語

	تَلْمِيذٌ	tilmīdhun at-tilmīdhu	生徒
--	-----------	--------------------------	----

☆定冠詞「アル(al)」と「アッ」のどっち？

『アラビア語の法則』pp.174-175 をダウンロードしてください。

<http://arabiya.d.dooo.jp/housoku/174.pdf>

黒い文字は月文字。月文字で始まる語につく定冠詞は「アル」。

緑色の文字は太陽文字。太陽文字で始まる語につく定冠詞は「アッ」。

* 単語に定冠詞をつけるときは、必ずこのリストで確認しましょう。